

令和7年度

事業報告書

法人経営部門

法人全体の管理・他の部門が事業を遂行しやすい環境をつくる

重点目標に対する総合評価

物価高騰や人件費増額等により行政補助金の要望額が増加し、経営状況の改善に向けて経費節減に努めた。また、職員を対象に事業継続計画（BCP）の研修及び訓練を実施した。

組織管理

1 会員の募集

地区会活動報告書の提出時にお渡しする地区会活動助成金から、法人の目的に賛同いただき、1世帯500円の会費を募った。また、集められた会費は地域福祉活動に有効活用した。

(1) 一般会員 3,704世帯（貞光 1,773世帯・半田 1,615世帯・一字 316世帯）

(2) 特別会員 22名（理事 8名・監事 2名・評議員 12名）

2 理事会の開催

開催概要	審議内容
第1回 理事会 日 時 令和7年5月26日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事 7名・監事 2名	専決処分について（生活困窮者一時立替金の支出） 令和6年度 事業報告及び収支決算（監査報告）について 令和7年度 第1回 補正予算について 社会福祉基金 活動完了報告について 社会福祉大会について 第1回 評議員会の開催日時及び場所、議題について
第2回 理事会 日 時 令和7年6月30日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事 7名・監事 2名	会長・副会長・常務理事の選定について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員候補の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集について 就業規則の一部改正について 職員給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
第3回 理事会 日 時 令和7年9月29日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事 7名・監事 2名	専決処分について（令和7年度 第2・3回 補正予算） 専決処分について（生活困窮者一時立替金の支出） 職務執行状況の報告について 表彰及び感謝状候補者の選考について 第21回 つるぎ町社会福祉大会について 苦情解決 第三者委員の選任について

開催概要	審議内容
第4回 理事会 日 時 令和8年2月26日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事8名・監事1名	専決処分について（会計規程の一部改正） 専決処分について（令和7年度 第4回 補正予算） 専決処分について（生活困窮者一時立替金の支出） 職務執行状況の報告について 令和8年度 事業計画及び収支予算について 令和8年度 社会福祉活動助成について 第2回 評議員会の開催日時及び場所、議題について

3 評議員会の開催

開催概要	審議内容
第1回 評議員会 日 時 令和7年6月18日 場 所 地域拠点センター 参加者 評議員7名・監事2名・理事2名	令和6年度 事業報告及び収支決算（監査報告）について 令和7年度 第1回 補正予算について 理事・監事の改選について 社会福祉大会について
第2回 評議員会 日 時 令和8年3月24日 場 所 地域拠点センター 参加者 評議員9名・監事1名・理事2名	専決処分について（令和7年度 第2・3・4回 補正予算） 専決処分について（会計規程の一部改正） 令和8年度 事業計画及び収支予算について

4 評議員選任・解任委員会の運営

開催概要	審議内容
評議員選任・解任委員会 日 時 令和7年7月18日 場 所 地域拠点センター 参加者 委員5名	委員長の選任について 評議員の選任について

5 福祉サービスに関する苦情解決

今年度は実績なし

労務管理

1 役職員の研修

第3回 理事会（R7/9/29 開催）及び、第2回 評議員会（R8/3/24 開催）の終了後に役員を対象とした研修を実施。 【 演題：法人後見事業立ち上げに向けて 】

その他、県社協や行政等が開催する、職員を対象とした研修に適宜参加した。

2 職員の適正配置

事務分掌により職員の適正配置に努めた。

3 職員の福利厚生

ソウェルクラブへの加入や、健康診断の実施等、福利厚生の充実に努めた。

4 職員間の情報共有

係長会議（隔月開催）や定例会議（月末開催）を通じて、情報共有に努めた。

財務管理

1 会計処理

適正な会計処理に努めた。

2 監査の実施

実施名	実 施 内 容	実施日及び場所	参加人員
定期監査	令和6年度（12月～3月分）社会福祉事業	令和7年5月13日 地域拠点センター	監事 2名
決算監査	令和6年度（4月～3月分）社会福祉事業（合計） 令和6年度 事業報告及び会計決算		
定期監査	令和7年度（4月～7月分）社会福祉事業	令和7年8月19日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	令和7年度（8月～11月分）社会福祉事業	令和7年12月16日 地域拠点センター	監事 2名

3 備品及び固定資産の管理

必要に応じた物品等の購入・廃棄など、適正な管理に努めた。

4 団体の会計処理

団体の役員等と協議しながら適正な会計処理に努めた。

企画・調整

1 社会福祉大会の開催

永年社会福祉の発展に貢献された方々の功績を表彰するとともに大会資料を作製し関係者に配付した。

第21回 つるぎ町社会福祉大会

開催日 令和7年10月29日（水）

開催場所 つるぎ町就業改善センター

参加者数 58名

主 題 心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして

表彰者 大会長表彰3名、大会長感謝状2団体、ダイヤモンド婚7組・金婚6組

2 全町一斉河川・道路清掃

7月6日（日）に全町一斉河川・道路清掃を行った。地域が一緒に活動することにより住民同士の絆を深めるきっかけとなった。活動の時期や内容は地域によって異なる。

（主な活動内容：河川、道路、集会所周辺の清掃等）

当日、午前8時30分より建設業協会の協力（ダンプカー持込み）をいただき各地区の収集を行い、収集された量は、可燃ゴミ960kg、不燃ゴミ430kg、資源ゴミ170kg、合計1,560kgであった。また、事故やケガなど万一のときに対処できる傷害保険に加入し、希望地区にのみゴミ袋を支給した。

3 中期経営計画の策定および進捗管理

積極的に計画策定を推進することができず、計画は策定できなかった。

★4 事業継続計画（BCP）にかかる訓練の実施

日 時：令和8年3月27日（金）16：30～17：00

参加者：職員10名

概 要：研修（理解度クイズ）、訓練（安否確認、自然災害初動判断、感染症事業継続判断）

広報

1 町広報誌等を活用した情報提供

町広報誌に掲載・同封、情報配信アプリ「@インフォカナル」による配信を活用した。

2 ホームページによる広報

WEBサイトを作成して情報の発信に努めた。

福祉関係団体への支援及び協力

1 手をつなぐ育成会

会員及び会費を町内全戸募集、賛助会費収入実績 793,500 円 (2,645 戸)。お寄せいただいた会費をもとに、知的障がい（児）者の福祉事業として、小・中学校の特別支援学級、地域活動支援センターへの支援並びに交流会や年末在宅激励訪問等に使わせていただいた。

2 共同募金委員会

徳島県共同募金会より依頼され、つるぎ町共同募金委員会を事務局として支援した。
また、つるぎ町共同募金委員会より助成を受け、一部の事業費に使用させていただいた。

3 身体障がい者会

4 遺族会一字支部

5 献血活動への協力

町内で実施される献血活動の連絡調整に協力

令和7年7月15日（火） つるぎ町役場分館前（ 9:30 ～ 12:00、13:30 ～ 16:00 ）
400ml 43名 不採血者数 1名

令和8年2月27日（金） つるぎ町役場分館前（ 9:30 ～ 12:00、13:30 ～ 16:00 ）
400ml 52名 不採血者数 6名

6 関係機関との連携・協働

感染症拡大により中止して以降、再開、実施できていない。

地域福祉活動推進部門

地域を基盤としたソーシャルワークを行うこと

重点目標に対する総合評価

各種行事や地域での活動が実施できるよう支援した。ボランティア活動推進では、学校の福祉学習にボランティア団体が参加したり、生徒に学外のボランティアを紹介するなど、活動機会の提供に努めた。個別の生活支援は、従来どおり、必要に応じて部門間で情報を共有し、関係機関と連携し支援を行った。また、法人後見業務の事業立ち上げに向けて、法人として合意形成を図り、体制整備を進めるため中核機関との協議を行った。

総合相談

1 弁護士相談	予約相談	計 5回 開催	相談件数 16件
2 司法書士相談	予約相談	計 20回 開催	相談件数 54件
3 理学療法士相談	月1回	計 12回 開催	相談件数 61件

個を地域で支える援助

1 ひとり暮らし高齢者安心事業（受託先：つるぎ町）

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯に対して、安心生活訪問員が定期的に訪問活動を行うことにより安否確認や不安解消、情報の提供などを実施。孤独感や不安感をなくし、安心して生活できるよう住民との関係づくりに努めた。また、訪問活動を通しての相談事項について、関係機関等と連携し解決を図った。

令和8年3月末現在

訪問対象者数 540名（半田 217名 貞光 236名 一字 87名）

延べ訪問件数 16,658件（半田 5,106件 貞光 6,595件 一字 4,957件）

要対処相談件数 103件（半田 48件 貞光 33件 一字 22件）

相談事項	不安 解消	介護 サービス	健康 医療	家計 経済	家族 関係	社会 関係	権利 擁護	その他	合計
	39	23	12	2	0	7	0	24	107
対応策	個人	家族	地域 住民	民生 委員	民間 会社	公的 機関	行政	社協 訪問員	合計
	3	13	4	3	6	12	51	47	139

2 みんなに安心お届け事業

福祉サービスや各種事業の利用につながらない当事者に情報提供を行い関係機関に繋ぐなど、生活課題の解決に向けて相談援助を行った。

3 生活困窮者自立支援事業（受託先：徳島県）

相談支援員を配置し、何らかの悩みを抱えている方や経済的に困窮している方の相談に応じ、事業利用申込をした相談者と共に目標（プラン）を立て、支援・助言を行った。緊急の際には支援物資の提供や、生活課題の解決に向けて関係機関との連携によるチーム体制で支援した。

相談件数	利用申込件数	目標（プラン）作成件数		
		家計相談	生活支援	就労支援
9	25	18	9	2

※ プランは重複しており、利用申込件数とは異なります。

4 顔なじみ見守りネットワーク事業

民間事業者と協定を結び、地域住民の異変等を発見した時に連絡をいただき、迅速に対応できるようにしている。

○ 協定締結業者数 33社

○ 相談件数 4件（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

対象者	ひとり暮らし高齢者	その他
件数	3件	1件
相談内容	安否確認 2件 状況確認 1件	状況確認 1件

5 安心カプセル配布事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、災害時・緊急時に活用できるよう必要な情報を保管する安心カプセルを配布している。 ・有効設置件数 325件

6 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（受託先：つるぎ町）

(1) 第16回 つるぎ町障がい者スポーツ大会

午前中みの開催とした。

【開催日】 令和7年11月18日（日） 【開催場所】 半田スポーツセンター

【参加者】 53名（身体障害者会関係 20名・手をつなぐ育成会関係 14名・関係機関 19名）

(2) 日帰り研修

【開催日】 令和8年3月7日（土）

【研修場所】 鳴門市（森陶器・ドイツ館・くるくるなると）

【参加者】 39名（障がい者 15名・特別支援学級 3名・付添い 17名・関係機関 4名）

★7 軽度生活支援事業「ちょこっとボランティア」

介護保険事業やシルバー人材センターでは対応できない生活課題を解消するために、会員登録をした住民相互の支え合い活動の需給調整を行った。支援会員の資質向上につながる研修会を案内した。

・需給調整件数 15 件

・年度末登録者数 利用：17 名 支援：18 名 ※両方登録者含む



ちょこっとボランティア
イメージキャラクター

個を支える地域をつくる援助

1 いきいきサロンの支援・拡充

・開催箇所（カッコ内は前年比）

半田 6 カ所 (0)、貞光 13 カ所 (0)、一字 7 カ所 (0) 合計 26 カ所

・いきいきサロン担い手交流会の開催

17 地区 29 名が参加し、情報交換会と美馬地区消費生活センターを講師に、詐欺被害等に遭わないための消費生活に関する勉強会を行った。

2 地域懇談会及びふれあい給食会（配食含む）の開催支援と資金助成

会食・配食を実施した場合、年 2 回まで 1 食あたり 400 円を助成した。感染症対策のため、調理・会食をせず購入した弁当を配食する場合にも助成対象とした。

◇ 助成実績 ※延べ人数、カッコ内は配食数

半 田	貞 光	一 字	合計
5 カ所 9 回 263 (187) 人	9 カ所 12 回 219 (89) 人	4 カ所 7 回 168 (112) 人	18 カ所 28 回 650 (388) 人 ※前年 19 カ所 27 回 569 (317) 人

★3 第 4 期地域福祉活動計画の推進

各モデル地区で、地域の実情に応じて住民のやりたい気持ちを形にできるように支援した。また、モデル地区で実施した防災研修を他地区で実施したり、地域福祉に関する研修を各種団体対象に実施したりするなど、住民主体による地域福祉活動の活性化と理解促進に努めた。

4 福祉推進委員との連絡調整及び地区会活動助成金の支給

例年通り、地区会活動報告書の提出時に、地区会活動助成金の中から社協会費をお預かりする形で、差引残高を助成金として支給した。

ボランティアセンター事業

- 1 ボランティアをしたい方と、ボランティアのサポートを求めている方をコーディネート（調整）したり、ボランティア活動に関する情報の収集・提供を行う。

ボランティアセンター登録・把握団体の活動実態と現状を把握するため、ボランティア活動保険加入手続きの際に、調査票により情報収集を行った。

- 2 各種養成講座、講演会、福祉教育を通した啓発活動を実施し、ボランティア活動の活性化並びに、裾野拡大を図る。

ボランティアセンター登録団体並びに社会福祉法人清寿会様の協力により、小・中学生の福祉教育・体験学習を実施した。また、広報活動の一環として、Instagramアカウントを開設した。

団体活動への助成事業

- 1 団体への助成（財源：社会福祉基金事業）

- (1) 助成申請 4件 314,300円
- (2) 助成決定 4件 314,300円（令和7年2月27日 理事会で承認）
- (3) 実施報告 4件 285,850円（令和8年度 第1回 理事会で承認予定）

※ 差額 28,450円は返還

- 2 団体等への助成（財源：善意銀行事業）

- (1) 払 出 善意の心を効果的に社会福祉の事業や活動に活用

- ア. 特別払出金 4件 415,000円（NPO、子ども食堂、保育所、貞中文集）
- イ. 物品 0件
- ウ. 事業費 2件 89,835円（敬老ハガキ、チャイルドシート）
- エ. 地域福祉活動推進サポート事業
0件

- (2) 預 託 福祉事業に理解をもって預託（寄附）いただいた善意の心

- ア. 預託金 3件 54,260円
- イ. 物品 11件 食材支援（米・うどん・レトル食品等）、日用品（タオル・座布団等）
- ウ. 指定預託金 2件 260,000円

生活支援

1 日常生活自立支援事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力に不安があり、支援を必要とする方の権利擁護を図ることを目的とし、地域で自立し、安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理、書類等の預かり保管などの支援をおこなった。

新規契約 3名 契約終了 3名 契約件数 10件 （令和8年3月末 現在）

（内訳）認知症高齢者 0名、知的障がい者 6名、精神障がい者 2名、その他 2名

2 福祉用具・運動用具・車両の貸与事業

福祉用具（車イス） 29件

福祉車両（車イスを搭載できるもの） 76件

レク用具（輪投げ、わたがし機等） 21件

3 チャイルドシート貸出事業

新生児から6歳未満を対象に無償で貸出。適正な保有台数について調整を行う。

種類（BC：新生児～3歳 J：3歳～5歳 ※体格により5歳以上も貸出可能）

	令和6年度		令和7年度	
	BC	J	BC	J
保有台数	72	35	56	35
貸出（新規）	27	17	20	6
貸出（継続）	35	15	33	23
在庫	10	3	3	6
出生数	15		16	

4 点字・声の広報等発行事業（受託先：つるぎ町）

つるぎ町に居住する視覚障がい者等に対し、情報取得の手段として、つるぎ町広報誌および暮らしのカレンダーをたまゆら友の会が朗読して録音したカセットテープを郵送した。

利用者 3名（令和8年3月末 現在）

5 法人後見業務の実施に向けた検討

法人後見業務の実施に向けて、成年後見制度及び法人後見業務に関する理解を深めるための役員研修の実施、先進地視察、体制整備を進めるための準備委員会開催に向け関係機関と協議を行った。

個人への資金援助

1 生活福祉資金貸付事務事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

新規貸付 1 件、償還完了 1 件、延滞利子免除 1 件により、貸付件数は 8 件となった。

資 金 種 類	R7 年 3 月 までの 貸付件数	R7 年度 貸付件数	償還 完了 件数	延滞利子 他免除件数	R8 年 3 月末 までの 貸付件数
総合支援資金	0	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0	0
福祉資金	2	1	0	1	2
更正資金	2	0	0	1	1
障害者更正資金・生業費	0	0	0	0	0
障害者更正資金・技能習得費	0	0	0	0	0
住 宅 資 金	0	0	0	0	0
障害者自動車購入資金	0	1	0	0	1
冠婚葬祭費	0	0	0	0	0
就職等支度費	0	0	0	0	0
緊急小口資金	0	0	0	0	0
教育支援資金	7	0	1	0	6
教育支援費	2	0	0	0	2
就学支度費	5	0	1	0	4
合 計	9	1	1	1	8

特例貸付

特例貸付	R7 年 3 月 までの 貸付件数	R7 年度 貸付件数	償還 完了 件数	延滞利子 他免除件数	R8 年 3 月末 までの 貸付件数
緊急小口資金	16	0	3	0	13
総合支援資金（初回・延長・再貸付）	16	0	0	1	15
合 計	32	0	3	1	28

★2 生活困窮者一時立替金（財源：社会福祉基金）

つるぎ町に居住し、公的保護または補助などを受けておらず、生活に困窮していると認められる者に対して生活費の一時立替を行う。財団法人つるぎ町社会福祉基金の解散に伴い、残余財産の寄附を受けて事業を引き継いだ。

生活困窮者に対する金銭の一時立替

ア. 一時立替	3件	180,000円	
イ. 償還額	7件	136,000円	
ウ. 償還残額	23件	1,145,000円	（累計：令和8年3月末現在）

3 災害等被災見舞金（財源：社会福祉基金）

今年度は実績なし

4 小規模災害見舞金の交付（財源：善意銀行）

今年度は実績なし

5 日常生活用具貸与料金等助成（財源：善意銀行）

今年度は実績なし

介護・生活支援サービス部門

在宅での生活を継続していけるよう支援する

重点目標に対する総合評価

利用者にどのように寄り添い、安全にサービスを提供できるか苦慮しながら、利用者の暮らしを支えるため、当会の他部門や各関係機関とも情報共有し、サービスの提供に取り組んだ。

また、昨年度に引き続き、セーフティネットの役割として、社協の他の機能を活用した困難ケースへの対応や採算が確保できない地域でも最後の砦として、介護サービスを担えるよう受け入れ体制を強化してきている。

介護サービス事業の経営改善が引き続き課題となるため法人全体で連携を図りながら業務を進めていきたい。

介護サービス

★1 居宅介護支援事業（職員体制：介護支援専門員4名）

今年度の年間延べ作成件数は対前年比、要介護186件減、要支援者23件増、認定調査は20件減となり全体として利用者は減り、昨年よりも全体的に介護報酬は減収となっている。今年度も新規利用申込に対して積極的に受け入れを行っているが、死亡や入所など契約終了も多く、入院等もあり月毎で変動が大きい状況となっている。困難事例や山間地域への対応が多いため、件数や介護報酬だけで図ることはできないが、介護保険サービスを利用する要の事業であり、事業継続ができるよう、「安全で質の高いサービス提供」や「業務改善」のために具体的な取り組みを進めていく必要がある。

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	37	34	36	36	33	31	30	23	23	27	29	29	368

(2) 介護予防支援事業（地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	52	54	51	53	55	56	55	59	55	49	53	50	642

(3) 認定調査：認定調査員による訪問調査

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	6	5	9	9	8	9	6	6	2	5	3	5	73

★2 居宅訪問介護事業（職員体制：ホームヘルパー 5名、登録ヘルパー 3名）

今年度も感染予防対策を引き続き徹底、有事の際、利用者への訪問が滞ることなく行えるよう業務継続計画の作成を行っている。

事業については介護度や障がいに応じて利用者の在宅生活を支える対応を行っている。本会はつるぎ町内の在宅福祉サービスの低下を防ぐためにも事業を継続しているが、経営的に厳しく、また介護人材の確保が課題となっている。新規の受け入れについても積極的に行っていく方針ではあるが人員の不足から十分に行えない状況となることもあり、町全体としても安定したサービスの提供が課題となっている。

(1) 居宅介護事業

① 居宅介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	13	14	14	13	14	13	13	9	9	8	10	11	141
利用回数	175	179	189	199	185	176	180	83	97	123	136	144	1,866

② 第一号訪問事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	33	33	31	34	36	36	35	40	39	39	40	39	435
利用回数	170	169	164	182	166	182	187	178	188	194	199	215	2,194

(2) 障がい福祉サービス事業

① 居宅介護・重度訪問介護サービス：障がい者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	10	10	10	9	9	9	8	7	7	7	8	104
利用回数	69	64	72	82	59	67	69	59	57	51	52	63	764

② 行動援護サービス：知的・精神の障がい者への外出時における必要な援助

今年度は利用実績なし

★3 受託事業

(1) つるぎ町子育て世帯訪問支援事業（受託先：つるぎ町）

利用者 2名

(2) つるぎ町地域支援事業 移動支援事業

今年度は利用実績なし